

poco a poco

ポ コ

ア

ポ コ

第2号

2010年10月5日 発行

「ドイツ・エンティンゲン報告！」

「演奏旅行企画から実現まで」

「この感動を今回来られなかった団員や家族にどう伝えたらいいかわからない…」

2010年7月エンティンゲンツアーの帰り、フランクフルト空港に向かうバスの車中で、参加した団員の多くから出た言葉でした。

エンティンゲン市民音楽団と東芝府中吹奏楽団の交流のきっかけは、2006年にさかのぼります。ドイツ エンティンゲン市在住の、中学校時代の吹奏楽部で一緒だった幼なじみ、柴田いづみさんから1本の国際電話がかかってきました。「エンティンゲン市民音楽団が2008年に日本での演奏旅行を予定しているが、東芝府中吹奏楽団とジョイントコンサートが出来ないか」という内容でした。あまりに唐突であり、また大きな話過ぎて、「そんなことが実現できるのか」「一体どこから手を付けていいのかわからない…」が正直な気持ちでした。会社側の全面的な理解とバックアップのお陰で、2008年の「東芝府中吹奏楽団・ドイツ エンティンゲン市民音楽団ジョイントコンサート」大成功に終わりました。そして、その年の12月、なんとエンティンゲン市の市長さんから「2010年オープンエアコンサート招待状」が届きました。

さて、これからが大変です！

東芝府中吹奏楽団にとって初めての海外遠征です。日程の調整、メンバーの決定、休暇の取得、楽器の運搬方法、税関手続きなどなど、やる事が膨大で、正直なところ途中で投げ出したいと思ったことも…(笑)

今回の演奏旅行実現にあたっては会社の理解と職場の理解、いつも応援して下さいの吹奏楽部 OB の先輩方、団員全員の協力無くしては、あり得ませんでした。また、大変ご多忙の中、ツアーにご同行下さいました、東芝府中事業所 青木所長、東芝労組府中支部 盛執行委員長にこの場をお借りして御礼申し上げます。そして、なにより私達東芝府中吹奏楽団のメンバーを暖かく迎えて下さったエンティンゲン市ハンスヨアヒム シュヴァルツ市長様をはじめとする、エンティンゲン市民音楽団の皆様、エンティンゲン市民の皆様、ホームステイ先のホストファミリーの皆様本当にありがとうございました。

またいつか「SEITE AN SEITE」(また逢えたね)と言える日を夢見て活動を続けたいと思います。

チューバ 福田 泰之

「エンティンゲン演奏旅行に参加して」

エンティンゲンでの滞在はホームステイであった。ホームステイは初めての経験であり、まして外国のことでもあり、当初は色々心配したが全て杞憂に終わった。

我々(Trbの西さんと同宿)は市長宅に世話になった。市長ご夫妻は、我々と同年代であり、英語での会話ではあったが全く肩が凝ることはなかった。現地での食事は、朝食はホームステイ先、昼食と夕食はほぼ外食。我々の場合、夜に戻ってから4人でワインを酌み交わすのが常であった。市長宅のバルコニーで夜風に吹かれ星を眺めながら、ワインを酌み交わすのは至福の時であった。

今回の演奏旅行では教会のミサで演奏する機会があった。我々が演奏する静かな曲をミサの進行の中に織り込ませるもので、最後の曲としてバッハの「目覚めよと呼ぶ声あり」を演奏した。バッハの国で東洋人の我々がバッハを演奏するのは、いかなものか、とも思ったが、バッハの祝福と教会での良い響きが調和して、手前味噌ながらとても良い演奏ができた。列席の方々からも素晴らしい演奏だったとおほめの言葉をいただくことができた。

以上、普通のツアーでは経験することのできない感動の1週間であった。

ホルン 名須川 泰策

「職場の暖かい励ましのもとに」

エンティンゲンでの生活は夢のような一週間でした。

二年前に私は楽団に入団し、初めての定期演奏会でドイツ エンティンゲン市民音楽団とのジョイントコンサートでした。あの時は慣れない環境で仕事を覚えるのに必死で、毎日が慌ただしく、正直何がなんだか分かりませんでした。

しかし音楽は凄いもので、国境を越えて1つの音楽を奏でることが出来ました。

「今度はドイツで会いましょう。」の一言で、絶対にドイツ遠征するぞ！と胸に決めました。当たり前ですが参加は個人負担の為、一人暮らしの私にとっては厳しいものがありました。

しかし、6月に行われた壮行会の後、(交DS)の課長から暖かいお言葉と、(交DS)からの饗別を頂きました。私たちは7口の演奏家ではないので、仕事を一週間休ませてもらえるだけでも有難いことなのに、こんなにも支援して頂けるなんて本当に驚きました。

また、私にとっては初めての海外でもあったので不安なこともありましたが、職場の方々からアドバイスしてもらい、とても勇気づけられました。

ドイツで演奏できたことは本当に感動的で、今後音楽を続けていく上でも、とても良い経験になりました。職場に恵まれ、そして温かい人と人とのつながりを強く感じる事が出来ました。

これからも仕事に励み、またJR山の方々に演奏を聴いていただけるよう、日々努力していきたいと思っております。

ユーフォニアム 倉田 里美



「エンディングツアーを終えて」

先日の新緑コンサート(ドイツ エンディングツアー社行会)では、熱烈なご声援を頂きまして本当にありがとうございました。今回の初遠征には、青木所長、盛執行委員長にドイツまで足を運んで頂きまして本当にありがとうございました。

私は、団員より2日遅れてでしたが7/15に成田を出発しました。行きは一人旅を気取っていましたが、準備不足やチョットしたICEトラフルなど、結構刺激的な旅となりました。それでも絵葉書のような中世の風情そのままのエンディングの町が、優しく迎え入れてくれました。(実際迎えに来てくれたのは、それはそれは優しいおじいさんでした。)

ウェルカムバーベキュー会では、会社で準備して頂いた鏡割りがとてもインパクトがあった様で、大好評でした。(ハンマーで何叩くんだ?何か出るの?といった感じでしょうか?)日本酒も、ライスワインは美味しいと人気が高く、一升瓶数十本がすぐに空っぽになりました。肝臓の種類が日本人と違うようです。

エンディング市民音楽団メンバーとの交流は、皆様の想像以上に、涙と感動の連続でした。帰国の日は皆、「帰りたくね〜」が口癖になっていました。(私も帰りたくねがたです。)

部長 パーカッション 高原 秋広

「アンサンブルコンテストへの挑戦！」

アンサンブルコンテスト初挑戦の意気込み

東芝府中トロンボーンチームとして創部以来、初めてのアンサンブルコンテスト出場となります。私自身楽器を始めてから半世紀近くになりますがアンサンブルコンテスト初挑戦です。還暦前の記念受験(出場)と言っていますが結構本気で鹿児島行き(全国大会)を考えています。ただ、「実力が伴わない」「体力が落ちている」「記憶力はもっと落ちている」上に「仕事が忙しい」「長期出張が度々」とマイナス要因ばかりです。しかし、20代から50代までの幅広いメンバーのチームワークをもってすれば解決すると信じています。ご声援よろしくお祈りします。

トロンボーン 佐々木 三男

「リベンジと東芝府中吹奏楽団バリテューバ四重奏委嘱作品「イノベーション」について」

今年もアンサンブルコンテストに参加できることになりました！

昨年は東京都予選を通過したものの、本選は銅賞で全国への切符を逃しました。残念な話はさておき、ユーフォニアム?テューバ?なにそれ?という方も多いかと思えます。物凄く大雑把に説明をすると、私達はトランペットの仲間(金管楽器)の1番大きいのと2番目に大きい楽器です(笑) 楽器は大きい程、響きが多く、音が低くなるのですが・・・そんな私達が4人合わさると・・・なんとビックリ!!! 響きが多すぎてモゴモゴして何をやっているのか分からないのです。なので、どうすればホールではっきり聴こえるかを常に研究しています。そして今年、作曲家の戸田 顕さんをお願いをして私達のために曲を書いていただきました。

この曲には面白エピソードがありまして・・・

3月にイベントがあり、その打上げに作曲者の戸田さんが来てくださったのです。そこで、ビール片手に戸田さんにご挨拶。色々お話を聞いて、ダメもとで「私達に曲を書いていただけますか?」とお願いをすると「良いですよ」と快く引き受けてくださいました。それから約4ヶ月、7月末に曲が完成したのですが、タイトルがなんと「Innovation」東芝だからLeading Innovationから?と思って戸田さんに確認をしたところ、全くそのようなことは関係なかったようです(笑)

「ユーフォニアム・テューバ4重奏では全国出場無理」というのが一般的な考えのようですが、私達は戸田 顕さんの曲で、曲名の通り「Innovation(革新)」を起こし、今年こそ全国大会に行けるよう頑張りたいと思います。

テューバ 大野 優美

アンサンブルコンテストとは

アンサンブルとは2人以上の楽器で旋律やハーモニーをそれぞれ担当し、合わせて音楽を奏でていくものです。

東京都アンサンブルコンテストは、各吹奏楽団体から2団体まで、1団体3人から8人で編成し出場します。

審査で見られるところは、技術と表現力です。技術に関しては、人数が少ない分、一人ひとりがしっかりと演奏し、表現することが必要になります。かなり緊張します(；_；)A

今回初出場のトロンボーンアンサンブルは、楽器の特性上、細かい音が苦手、はっきりと吹くのが苦手・・・と減点要素盛りだくさん。マイナススタートです。そして平均年齢45.6歳!?出場団体のほとんどが20代から30代なので年齢的にも厳しかったり(笑)

しかし、還暦間近のお二人にたくさん頑張ってもらいまして、このマイナスをカバーしていきたいと思います!!

仕事も頑張らないとですから、週に2回ぐらいしか練習できませんが、最大集中で効率の良い練習をし、金賞目指してがんばります!

ちなみにアンサンブルコンテストは一般団体と職場団体合同の約75団体中10位までに入らないと都大会に出場できません。みなさんご声援お願いします!

コンテストの日程→2010年11月3日 亀有川オホール

「第40 回定期演奏会！」

「定期演奏会への意気込み」

11月6日は、府中事業所創立70周年、当団創立65周年の記念すべき年に第40回定期演奏会を開催することになりました。毎日の昼休み練習・休日練習の成果を十二分に発揮し、すばらしい演奏会にしたいと団員一同張り切っています。是非、会場に足をお運び下さい。これからも、皆様に楽しんでいただける音楽作りに励んでまいりますので、東芝府中吹奏楽団へのご声援をよろしくお願いいたします。

Danke schön!

部長 パーカッション 高原 秋広

「聴き所」

今年の演奏会では、日本初演となる吹奏楽を使ったミュージカル「サタンの種」をご披露させていただきます。この演奏会では、吹奏楽演奏に加え、ソリストとコーラス、ダンスを加えたミュージカルステージになります。

当団の音楽監督である、東京佼成ウインドオーケストラ首席ホルン奏者の上原宏先生のご指導の下、我々にご協力くださる、多数のミュージカルスタッフの方々と一緒に、お客様に満足いただける素晴らしいステージを作りたいと思っています。

演奏会としては、ミュージカルの他に、エンティンゲン市への遠征の際に披露した、兼田敏作曲の日本民謡組曲「わらべ唄」や、吹奏楽の定番とも言える、ホルストの第1組曲、クラシックとしては非常に有名で日本のポップスでも取り上げられている、同じく、ホルストの組曲惑星から「木星」など、皆さんにおなじみの曲も演奏します。

正直、ホルストの大作2曲にさらにミュージカルステージと、演奏する側は、かないシンドイのですが、ご来場いただいた皆様には必ず満足していただけるプログラムと思っています。この原稿を書いている今は、ミュージカルという初めての試みで、判らないことばかりで、企画、練習と大変な状況ですが、団員一同、ご来場いただいたお客様に感動をお届けできるステージを作るために頑張っています。

11月6日(土)は是非、会場のどーむホールに足をお運びいただいて、我々の成果を聴きに来ていただきたいと思います。

トランペット 竹内 守

「団の大先輩！」

「質問コーナー」

仕事と部活の両立、団の流れ

①アラ50～アラ遠征の世代への質問

- 質問1 楽器を始めたきっかけ
- 質問2 仕事、家庭との両立の秘訣
- 質問3 今まで続けてきて思うこと
- 質問4 何歳まで続けたいですか？

(クラリネット 加藤 利春さん)

- 質問1 ベニーグットマン物語の映画を見てカッコいいなと思った。(43年前)
- 質問2 奥さんの理解が有り、職場の人達の支援が有ること。
- 質問3 練習でも集中している時が一番楽しい。本番はそれ以上。
- 質問4 音が出せて皆に迷惑を掛ける事が無ければ、「ハビリ」を兼ねて80歳まで。(北村英治は、81歳現役です。)

(ホルン 名須川 泰策さん)

- 質問1 中学で近所の先輩に勧められた。空いていた楽器がアルトホルンだった。
- 質問2 いずれにも適当に距離を置くこと、のめりこまない。
- 質問3 その時、その時で素晴らしい仲間巡りに巡り会うことが出来た。
- 質問4 さしあたっての目標は65歳。

(トロンボーン 佐々木 三男さん)

- 質問1 小学校の時、鼓笛隊で小太鼓をやっていたのでパーカッションをやろうと思って入ったがお前は手が長いのでトロンボーンだと言われた。
- 質問2 幸い子供たちも吹奏楽に入ったので問題ありません。妻も団出身なので理解がありました。たまたま休暇を取って一緒に温泉に行くことが重要です。
- 質問3 吹奏楽のおかげで良い先輩、仲間と出会え、仕事を続けてこられたのも吹奏楽と仲間のおかげだと思います。家族の中でも共通話題なので親子の断絶もありません。吹奏楽の中では先輩後輩です。続けて良かった。
- 質問4 勿論、死ぬまでです。

(トロンボーン 西 忠士さん)

- 質問1 中学入学時、親しい先輩に誘われたため。(田舎の小さな学校で全員で10人程度しかいなかった)
- 質問2 職場、家庭の理解と、意欲(仕事も頑張り、練習にも行く)でしょうね。
- 質問3 うまく言い表せませんが、長い間、続けてきて良かったです。音楽を通して、沢山の素晴らしい先輩、知人、友人と出会ったこと。職場の理解ある上司、同僚に恵まれたこともよかったです。コンクール全国大会出場、エンティンゲン演奏旅行が思い出深いです。本当に今まで続けてきて良かった……。
- 質問4 体力、精神力の続く限り、老体に鞭打って続けたいです。(が、若い人たちから最後通告があると諦めます)一言「音楽は「音を楽しむ」と書きます。下手な私ですが、これからも出来る限り、素晴らしい仲間たちと音を楽しんで行きたいと思っています。

(バトンスキソフォン 嶋川 聡さん)

- 質問1 親父の軍隊ラッパをおもちゃ代わりにしていた。
- 質問2 健康第一。これに限ります！！
- 質問3 長年やってもリスム音痴は治らない。生まれつき？だからお許しを。
- 質問4 楽しく来て、楽器が持てれば80歳までが目標。

「仕事と部活と子育てと家事の両立について！」

こんにちは。主婦団員(匿名希望)です。

さて、「家庭(子育て)・仕事・楽団の両立」というテーマをいただいたのですが、そんなことは可能なのか？結論を言ってしまうと、「全部を完璧に」はムリです！では、実際どうしているかというところ、その時々での優先順位をつけて手を抜きながら気合いでこなす、というのが現状です。子育てに専念するために休団している仲間もおります。子供を家族にお願いして練習参加したり、一日中吹き続けてへロへロになり、食事がレトルトカレーになる日もあったりします(コメントサイ…m()m)。

主婦団員同士の連携も不可欠です。出番のない時にお互いの子供の面倒を見たり、休団していても情報を共有しあったりして、復帰した時に「満島太郎」にならないようにしています。そこまでしなくても…と思うこともあります。それでもやめられないのは、楽団の仲間とのつながりが自分たちにとってとても大事なものだからです。一つの演奏会を作り上げる喜びを一度知ってしまうと、やめられません。そんな主婦連合ですが、これからも、細々と、でも楽しく長く楽団生活を続けて行きたいと思っています。(歯が丈夫な限り…(;))

主婦一号

「団員募集！」

求む！！



当団は、株式会社 東芝 及び東芝グループ、協力会社の従業員で構成しています。

やる気、興味のある方は是非ご一報をください。
今日、この場で申し出てくださってもOKです！
現在、団員は50名ほど在籍し、練習は週1回、東芝府中事業所内で行っています。
詳しくはHPへ！！(↓にアドレスあります)

楽器を始めてから今まで

私が東芝府中吹奏楽団に入団させてもらってから、早くも3年が経とうとしています。入団当初、仕事以外に、何か打ち込めるものを見つけたい、と思っていました。そして、様々な偶然が重なって、セロから楽器を始めることになりました。初めの頃は周囲からはずいぶんと驚かれたり、クラリネットが似合っている、といわれて結構その気になったりしながら、スタートしました。

よい仲間恵まれ、自分の出した音が知っているメロディになったときに単純に喜び、他の奏者の音と一緒に一つ一つのまとまった曲になることに感動し、それを聴いた方々が喜んでくれる、ということあって、これまで続けることができたと思います。

現時点では貢献度よりお荷物度のほうがだいぶ大きいですが、卒業までには貢献度のほうが大きくなることを目指して、引き続き活動していきたいと思っています。

クラリネット 林 武史



編集後記

poco a poco も、待望の第2号が発行となりました。

今回は、メンバーに記事をお願いしたところ、皆さん、快く引き受けていただき、それもたっぴりと文章を書いてくれて、紙面に収めるのに一苦勞…嬉しい悲鳴です(;) A
みなさんに吹奏楽団と音楽の楽しさをお伝えできたら幸いです♪

ホームページでも様々な情報を発信しております。ぜひ、ご覧ください。

東芝府中吹奏楽団HP：<http://homepage1.nifty.com/TFWO/>

第二号編集長 トロンボーン 金子 理絵